

あなたの声でまちづくり

直方市第一回

市民満足度調査報告書

今回の調査は、第4次総合計画後期基本計画（平成18年策定）に基づく市の行政サービスに対する市民の満足度、重要度を把握する目的で行いました。

調査では、20歳以上の市民を対象として無作為抽出した2000人にアンケートを発送し、43%の860人から回答を得ました。

今後の居住意思では、「今後も住み続ける」が当分住み続けるの合計は約8割でした。また、市の情報入手方法については、市報のおがたが85%、新聞が31.3%である反面、市のホームページが9.2%でした。高齢化による地方、世代の情報格差が表れた結果となりました。

アンケート回収率

郵送総数	回答数	回収率
2000	860	43.0%

今後の居住意思

	回答数	割合
今後も住み続ける	533	64.3%
当分住み続ける	144	16.7%
将来引っ越す予定	41	4.8%
近々引っ越す予定	4	0.5%
分からない	84	9.8%
無回答	34	4.0%

市の情報の入手方法（複数回答）

	回答数	割合
市報のおがた	736	85.6%
議会だより	216	25.1%
直方市ホームページ	79	9.2%
新聞	269	31.3%
テレビ	91	10.6%
ラジオ	7	0.8%
友人	88	10.2%
その他	24	2.7%

現在の政策分野満足度順位

順位	政策分野	満足度
1	水道水	2.62
2	ごみの減量	2.51
3	健康づくり	2.26
4	生活道路	2.19
5	幹線道路網	2.15
6	公園・緑地	2.05
7	道路維持管理	2.03
8	自然環境保全	1.94
9	地域医療	1.93
10	交通結節点	1.91
11	中心市街地	1.78
12	文化施設	1.78
13	観光振興	1.75
14	下水道整備	1.75
15	バス路線	1.70
16	災害対策	1.68
17	スポーツ施設	1.64
18	生涯学習	1.60
19	学校教育	1.56
20	非常時救急救助	1.51

次に個別の政策分野ごとの「満足度」、これからの「重要度」の集計分析結果をご紹介します。

上位は食の安全や環境であり、食の安全がとりだたされている世相を表し、水という生活に必要不可欠なライフラインへの関心の高さがうかがえます。幸い、満足度も1位となりました。また、「ごみの減量」も、重要度及び満足度

揃って2位となっており、環境への関心の高さと、市のリサイクルへの取り組みに対し、ある一定の評価が頂けたといえます。

この資料からは、満足度が低い政策分野も読み取る事も出来ますが、市民全体ではあまり重要ととらえられていない場合もあります。市にとつてすぐ改善しなければならぬ分野を把握するため、この2つの相関関係に注目してみたいと思います。

重要度

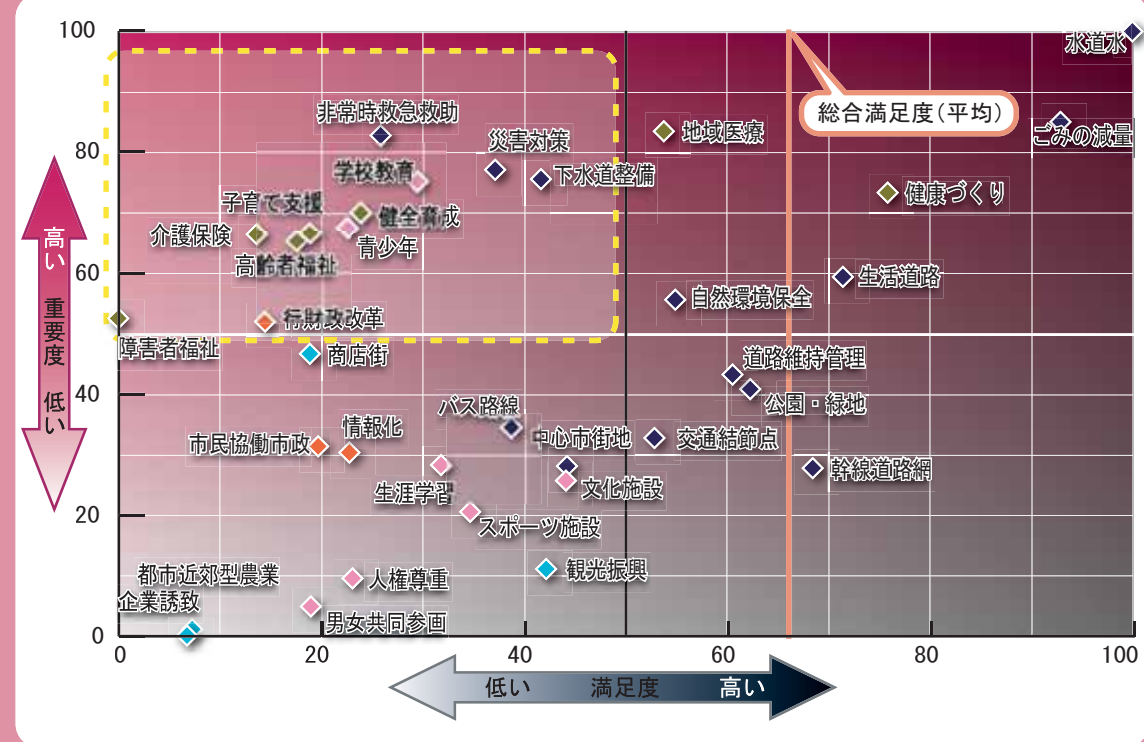
順位	政策分野	重要度
1	水道水	3.73
2	ごみの減量	3.55
3	地域医療	3.53
4	非常時救急救助	3.52
5	災害対策	3.45
6	下水道整備	3.44
7	学校教育	3.43
8	健康づくり	3.41
9	健全育成	3.37
10	青少年	3.34
11	子育て支援	3.33
12	介護保険	3.32
13	高齢者福祉	3.31
14	生活道路	3.24
15	自然環境保全	3.19
16	障害者福祉	3.15
17	行財政改革	3.15
18	商店街	3.08
19	道路維持管理	3.04
20	公園・緑地	3.01

※この点数は、4点満点です。

※この点数は、4点満点です。

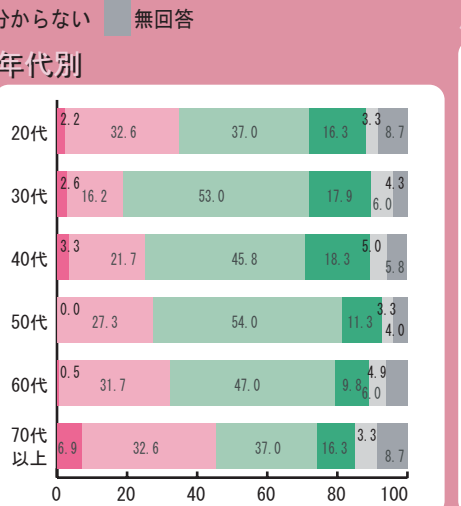
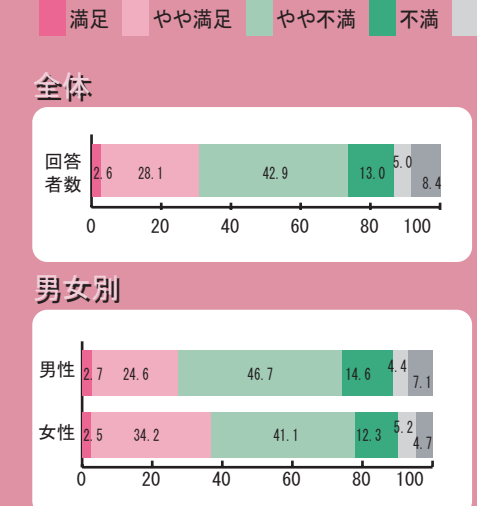
重要度と満足度の相関図

この図は、各政策分野の満足度、重要度について、それぞれの最高点を100点、最低点を0点とした場合の相対的な分布を表したものです。



- 補足事項 ◆マークは、総合計画における政策分類を表しています。
- ◆ やすらぎ・快適・美しい都市
 - ◆ 元気・創造・チャレンジ都市
 - ◆ 笑顔・いきいき・ささえあう都市
 - ◆ 輝き・感動・育てあう都市
 - ◆ 構想の推進にあたって

総合満足度



居住している小学校区別

小学校区	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	無回答
植木	2.2	26.7	46.7	11.1	6.7	6.7
上頓野	1.4	22.2	41.7	20.8	5.6	8.3
感田	3.7	46.3	35.2	11.1	10.0	3.7
北	3.2	32.6	37.9	15.8	8.4	2.1
下境	3.2	30.6	43.3	9.6	5.1	8.3
新入	2.5	31.4	44.1	10.2	4.2	7.6
中泉	4.7	31.3	37.5	17.2	7.8	1.6
西	0.0	32.6	39.5	16.3	2.8	9.3
東	6.5	16.1	58.1	12.9	3.2	3.2
福地	1.4	25.0	47.2	12.5	4.2	9.7
南	0.0	18.0	62.3	14.8	3.3	1.6

低い総合満足度

直方市の住み心地に「満足」と回答した人の割合は2.6%、「やや満足」は28.1%で全体の約3割を占めています。一方、「やや不満」は最も多い42.9%、「不満」は13.0%と、合計5割以上の人が直方市の住み心地になんらかの不満を感じていることとなります。

女性が比較的高評価

男女別比較では、やや満足が男性24.6%、女性34.2%で「住み心地がよい」と感じているのは、男性よりも女性の方が多いことが分かります。

ただ、各回答の割合構成にはつきりとした違いは見受けられません。

若年、高齢世代も比較的高評価

年齢別比較では、高齢世代と若い世代が「住み心地がよい」と感じている傾向にあります。

その中間世代に「やや不満」「不満」が多くみられます。そして「満足」との回答は70歳以上に多く集まっている傾向があります。

地域差も顕在

小学校区別比較では、「住み心地がよい」と感じているのは、感田校区に多く、南校区、東校区、上頓野校区は「住み心地が悪い」と感じている傾向にあります。

このことは、道路交通網の整備や大型商業施設の進出など、生活環境の変化が要因と考えられます。

市政の早期改善項目

上記の表は、重要度と満足度の相関関係を表したものです。表の右に行くほど満足度が高く、左に行くほど低くなります。また、表の上に行くほど重要度が高いと多くの市民が感じている分野で、下の方は重要と考える人が比較的少ない分野です。

この表の左上に（黄色の）点線で囲った部分が「市民にとって重要度が高いにもかかわらず満足度が低い」政策分野であり、市の早期改善項目として浮上しました。

市は今後、この調査分析結果を行政サービスの向上及び各政策を展開する上での指標、基礎資料とします。

調査にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

■問い合わせ先
政策推進課 TEL25-2230